

「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和元年度の取組状況

基本方針 I : がんの予防・がん検診による早期発見の推進

1 がん検診普及啓発事業

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布し、街頭啓発を行う等、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施。

① ピンクリボン街頭啓発キャンペーン

日時：令和元年10月3日（木）午前9時 場所：桜通大津付近

内容：東京海上日動あしん生命の職員と共同で通勤途中の県民にがん検診啓発グッズを配布

街頭啓発



乳がんセルフチェックシート



② がん対策推進連携企業や鉄道会社における啓発ポスターの作成・掲示

がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10月）に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行った。

作成部数：1,100部

配布先：連携企業（イオン、ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、鉄道会社、市町村 等

キャンペーン月間ポスター



市役所駅地下連絡通路への掲示
(ポスター・啓発パネル)



2 がん検診従事者講習事業（公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団委託）

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催。また、平成 28 年度から新たに胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されたため、がん検診の胃内視鏡検査に従事する医師等に対する研修会を開催。

ア 大腸がん検診従事者講習会及び乳がん検診従事者講習会を開催

（各 1 回、いずれも令和 2 年 2 月に実施）

イ 胃内視鏡検査従事者研修会の開催

開催日：令和元年 12 月 1 日（日） 参加者：75 名

対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に従事する医師または市町村がん検診担当者等

内 容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策に係る研修を実施。なお、先進市である浜松市の取組も講義。

3 がん検診精度管理委員会の開催等

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、専門家で構成する委員会での分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施。

基本方針Ⅱ：県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアが受けられるがん対策の推進

1 がん診療連携拠点病院の整備等

(1) がん診療連携拠点病院等の指定

国指定の「がん診療連携拠点病院」（19 病院）と県指定の「がん診療拠点病院」（7 病院）を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。指定期間は 4 年間で、平成 30 年度に、国指定、県指定とも指定が更新された。

(2) がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っている。

(3) がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金

がん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの運営や診療機能、医療連携機能の強化を図るために要する経費に対して補助金を交付。

補助対象： 15 病院（国指定病院のうち国から直接補助を受ける 4 病院を除く施設）

補助単価等： 7,605 千円（国 1/2、県 1/2）

※平成 29 年度より 7,605 千円に増額（平成 28 年度は 6,490 千円）

(4) 陽子線治療の講演会の開催

開催日：令和2年2月23日（日）

場 所：岡崎商工会議所 対象者：一般県民 参加者：12名

内 容：痛みがなく、身体への負担が少ない、放射線治療の選択肢の一つとして注目される陽子線治療について、名古屋陽子線治療センターの医師等を講師に招き、県民に広く周知するため講演会を実施。

基本方針Ⅲ：子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

1 がん教育（教育委員会の支援）

(1) 中学生向けのがん専門医等によるモデル講座の開催

中学生向けモデル講座の希望校を募集し、応募のあった4校において医師によるモデル講座を実施。

生徒から家族に伝わるよう啓発物を配布

① 大口町立大口中学校

令和元年10月18日（金） 参加者：217名

② 安城市立安城南中学校

令和元年11月8日（金） 参加者：264名

③ あま市立七宝北中学校

令和元年11月25日（月） 参加者：159名

④ 田原市立田原中学校

令和元年12月2日（月） 参加者：185名

内 容：がんの罹患、死亡等の現状、がんの原因、生活習慣とがん、がん予防、早期発見、治療
※管内の教員や県保健所職員、市町村保健センター職員等も参加



(2) がん教育外部講師向け研修会

中学校や高等学校でがん教育を実施する医療関係者向けに、がん教育を実施する上での留意事項及び効果的な進め方等に関する研修会を実施。

開催日：令和2年1月22日（水）

場 所：愛知県がんセンター 国際医学交流センター 参加者：91名

内 容：外部講師によるがん教育に期待されること、がん教育モデル授業、講義を行う上で留意すべきこと

対象者：がん診療連携拠点病院とがん診療拠点病院の医師や看護師等及び学校医

2 女性に特有のがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（大学、企業等）と連携した講演会やイベントの開催による啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施。

- ① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催
開催大学：名古屋文理大学
開催日：令和元年 7 月 8 日（月）
参加者：学生、教職員等 69 名
- ② P T A 会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布
- ③ 女性が活用しやすい啓発資材として新たにあぶらとり紙を作成し、上記講演会やイベント等で配布
- ④ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報を H P に掲載
掲載機関数（令和元年 6 月現在）：216
- ⑤ H P 掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

3 小児がん対策

小児がん患者の就学（復学）支援のため、がん診療連携拠点病院等の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員等による情報交換や事例検討を行うため、病気療養児の就学支援に関する研修会を開催。

- 開催日：令和元年 8 月 9 日（金）
場 所：愛知県産業労働センターウインクあいち 9 階 903 会議室
講 師：大府特別支援学校教諭、小児科医 参加者：29 名
内 容：小児がん患者の支援に携わる看護師等と病気療養児の教育に携わる教員による情報交換や事例検討

4 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

- ① 働く世代のがん対策講演会の開催
ア 企業との連携による講演会（企業名：株式会社トーエネック）
開催日：令和元年 9 月 3 日（火）、6 日（金） 参加者：従業員 296 名
内 容：がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとしたがん専門医やがん治療経験者による講演を開催

② 「あいち地域両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図る。

開催日：令和元年12月24日（火）

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、
愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部
愛知産業保健総合支援センター、愛知県（労働局、保健医療局）、名古屋市 等
事務局：愛知労働局労働基準部健康課

基本方針Ⅳ：みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現

1 がん患者・家族に対する相談支援事業

(1) ピア・サポーター養成事業（NPO法人ミーネット委託）

ピア・サポート活動を周知するための講演会を開催し、興味を持つ方を増やし、その後、ピア・サポート活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催。

① ピア・サポーター養成研修

ア 講演会

開催日：令和元年9月29日（日） 参加者：156名

場 所：栄ガスビル

内 容：緩和ケア医やがん治療経験者による講演、
ピア・サポート活動の紹介

イ 研修会（計4回）

開催日：令和元年11月16日（土）、11月17日（日）
12月14日（土）、令和2年1月25日（土）

参加者：45名

場 所：国際デザインセンター

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、
対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談 等



(2) がん患者・家族に関する相談支援事業（NPO法人ミーネット委託）

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施。

① 電話相談事業 **実施回数を毎月5回から10回に拡充**

実施日数：120日

利用者数：319名（前年度：実施日数60日、利用実績254名）

2 がん患者サポートブックの作成、相談窓口・制度周知用リーフレットの作成

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「がん患者サポートブック」を毎年作成するとともに、簡易版のリーフレットを作成する。

- ① あいちのがんサポートブック（B4版）
発行時期：令和元年8月 作成部数：10,000部
- ② リーフレット（A4版、4ページ）
発行時期：令和元年8月 作成部数：20,000部

① サポートブック



② リーフレット



3 愛知県悪性新生物患者登録事業（全国がん登録事業）

がん登録等の推進に関する法律（平成25年法第111号）により、すべての病院及び指定された診療所は、届出対象となっているがんの診断又は治療をした場合、届出票を作成し提出することが義務化された。全国がん登録は、がん医療の質の向上並びにがんの予防の推進のための情報提供の充実、その他のがん対策を科学的知見に基づき実施するため、がんの罹患・治療・転帰等の状況を把握し分析することを目的としている。愛知県の2018年の届出件数は66,899件、届出医療機関は161機関であった。2016年診断での罹患者数は49,075名、死亡数は19,087名であった。

4 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

全国がん登録の初年分（2016年診断）の罹患情報は2019年3月に確定し、データ提供が可能となった。2019年は2件の利用申請があり、9月12日（木）三の丸庁舎にて第1回愛知県がん登録情報利用等審議会が開催された。審査の結果、申請に対して応諾となり情報提供が行われた。